

家族単位でなく、地域単位で子育てする環境作りを。



おいては全国トップクラスの取り組みではないかと負しております。また、経済的な問題だけでなく、子育て中のおかあさんたちの悩みを解決していくための子育て支援センターを設置するなど、幅広く、きめ細やかな視野でアプローチしていきたいと考えています。

名誉会長：特に6ヶ月未満の赤ちゃんのいる家庭ではおかあさんも育児に慣れていないで負担を感じるうですね。

知事：いいことですね。ライフスタイルの変化の中で、夫婦共に働く家庭が増えています。働く女性にとって、家族の協力を得ても育児と仕事の両立は大変でしょう。地域の力やベビーシッターの協力を得ながら、子育てをしていくことが必要ですね。

親としての喜びを支援して

ターア協会設立以来、毎年2回の全国研修会を名古屋国際会議場で実施しており、多数のベビーシッターが家庭内における保育をサポートしています。また国内外には協会加盟会社が10社あり、保育所の民間委託や事業所内保育所の運営など、さまざまな場面で活躍しております。

知事：ベビーシッターには、資格があるのですか？

名詠会長：新任研修と現任研修を各3日間受講し、実務を経た後に、毎年1回、名古屋を含んだ各地で試験を実施し、合格者に「認定ベビーシッター」資格を交付しております。また保育士養成課程のある大学などで在宅保育に関する2単位を履修した卒業生に同資格が与えられる指定校制度も設けて、年々多くの有資格者を創出しています。

■愛知県下で活躍するベビーシッター

満開の桜が咲き誇る美しい庭を臨みながら、3月27日、神田真秋愛知県知事と当協会名誉会長巻野悟郎が、愛知県知事公館にて対談させていただきました。子育て支援を語る神田知事の眼差しは、春の日差しのようにあたたかでした。

愛知県 神田真秋 知事

昭和26年10月1日生まれ 昭和49年3月 中央大学法学部卒業。弁護士を経て、平成元年11月一宮市長就任、3期勤めた後、平成11年2月 愛知県知事に就任、現3期目。読書、絵画を趣味とする。著書に『私の文章修行－生涯学習－』。

愛知県 神田 真秋 知事

知らないから、と続いています。昔から子育ては大変な
ことでした。自分のことだけでなく子どもの世話をし
育てるのですから、しんどいでしょう。でも、子育ては、
いいこともたくさんあるのです。実際に同じアンケ
ートで「子育ては楽しい」と答えている人も99%を超
ているのです。

知事…ともすればマイナス面が前面に出されがちです。
本来はプラス面がたくさんあるのです。子育ては樂
いということを若い世代に発見して欲しいし、もつと
じて欲しいと願っています。個人的には、結婚式のス
ーチをさせていただく時などに、家庭を持つ喜びや、一
どもを持つ喜びをたくさん話すようにしています。二
政としては、家族単位だけでなく、地域も一緒になつ

子育てをする体制づくりが必要だとおもっています。

名誉会長：ベビーシッターもぜひ活用してください。家庭の中に入り込んでお母さんと一緒に子育てをしたり、応援するのがベビーシッターの役割です。経済的に国庫補助事業として利用料金の助成があります。（育児支援サービス事業の案内リーフレットをお渡して）育児と就労の両立支援ための「ベビーシッター育児支援事業」や、児童の健やか育成に寄与するための「産前産後育児支援事業」「出生児家庭育児支援事業」など、様々な事業を実施しております。

名譽会長：普段の生活の中で兄弟同士がけんかをしたり、競争したり、我慢することを覚えたり。子どもたちは色々な経験をしながら、たくさんのこと学んだいたものですね。それが家族や家庭の本来の姿だと思うのです。

知事：少子化が進むことで、こうした経験を積みにくくなっています。残念なことです。しかしながら、このような家庭や家族をどのように支援していくかが、行政の役割だと思うのです。経済的に負担であるならば、その負担を少しでも軽くするために何ができるか。子育ての時間や、おかあさん自身の時間をどのようにつくつてあげられるか。これらが行政としての課題ですが、コツコツと政策を積み上げていき、笑顔を持つて子育てを楽しめるおかあさんたちの支援をしていきたいと思っています。

名誉会長：行政と民間が協力し合って、「子育ては楽しい」ことを、広く社会に発信していくましょう。本日はお忙しいところありがとうございました。

た関わりが持ちにくいやうです。で愛知県としては0歳児や1歳クラスには保育士を多めに加配し少しでも家庭での育児に近づけうに配慮しています。



のここかな春の風にゆれる県庁内の満開の桜の下で。



東京大学小児科学教室
医学博士 小児科医
こうの ごろう
巷野 悟郎
名誉会長

昭和19年 東京大学医学部卒業
都立駒込病院 小兒科医長、同副院長、都立府中病院
院長、東京家政大学教授、聖徳大学児童学科教授を
経て 現在 社団法人 全国ペーリンサー協会名誉会長
こともの城 小兒保健クリニック院長

日本保健園保健協議会会長
〈主な著書〉
「子育て相談Q&A」共著（日本小児医事出版社）
「子育ては自然にorce」（東京房）
「赤ちゃんが書かせてくれた～小児科医から
ママへの手紙」（赤ちゃんとママ社）など多数